



TRAM SYSTEM

NEWS LETTER

Ver. 2015. 01



今月のコンテンツ



siri

◎ iphone 音声アシスタント「Siri」

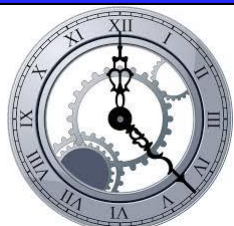
・「siri」による情報漏えい



watson

◎ IBMのwatsonが実戦デビュー

・早くも実用化の水準に達する



閏秒

◎ 閏秒が招く、世界的システムエラーの恐怖

・2015年6月30日は、1日が1秒長い!?



インフルエンザの検査

「うっ、ぐっ、がはあ！」 なります..。

愛知県では1月6日にインフルエンザ警報が発令されました。
インフルエンザA型が大流行しており、昨年末から学級閉鎖になっている学校も少なくありません。
1～2月がピークで3月まで続くとみられてますので、皆様お体には重々お気を付け下さいね。
高熱が出ずともインフルエンザに掛かっていることもあるそうですので
体調が悪ければ無理せず病院にかかることをオススメします。

◎ iPhone 音声アシスタント「Siri」

・ Siri による情報漏えいが発覚



Siri(シリ)とは、iOS向け秘書機能アプリケーションソフトウェアのことです。iPhone4sから搭載されており、ユーザーが音声で質問や命令をすると各種iPhoneの機能を代行してくれるというものです。

標準設定なら携帯がロック中でもホームボタン長押しで起動し、画面には「ご用件は何でしょう?」と表示されます。

このとき、音声操作でアプリを起動しようとしても、ロック解除を求められて操作は不可能となります。

しかし、「着信履歴を見せて」とSiriに向かって言うと…。なんとすべての履歴を音声で読み上げ始めてしまうのです！

なにゆえそのような仕様にしてしまったのでしょうか…。

これは他人のiPhoneだろうが関係なく、通話履歴に知られたくない相手の名前があると「だれよ！この女！！よく電話してるみたいですけど!？」なんて修羅場に…。

もちろん設定からこの機能はオフにできるので、標準設定のままになってる方は変更しておいた方がよさそうです。

特に必要な機能とも思えませんし…。



面白回答でも人気です。
かなり色々用意されてるみたいですよ。

◎ IBMのWatsonが実戦デビュー

・早くも実用化の水準に達する

メガバンクで、日本IBMの質問応答システム「Watson(ワトソン)」の実用化が佳境を迎えています。

WatsonとはIBMが開発した質問応答システムで、2011年アメリカを代表するクイズ番組で過去74連勝した「ケン・ジェニングス氏」を破って賞金総額歴代最高になった「ラッド・ラター氏」、2人のチャンピオンを破って勝利を収め大いに話題となりました。優勝賞金は100万ドルといえますからそのクイズ番組の規模の大きさがうかがえます。



Watsonはトーマス・J・ワトソンから名前を取っています。
IBMを世界的大企業に成長させ死後に「世界一のセールスマン」と称賛された人物ですね。

Watsonは「問い」に対して膨大な情報の中から「解」の「候補」を挙げていき、さまざまな観点で検証していきます。正解に近ければ近いほど多くの観点を満たしていると考え、候補を絞り込んでいき一度「仮説」とします。その「仮説」を再度知識源に検証しにいきます。それが正しい回答であれば情報源の中に一致がみられるはずで、それを「観点」毎に行って、結果をスコアとして和を取り、それを合せることでもっとも高い確信度のものを回答として答えます。おおまかにWatsonはこういう計算を1秒程度でしているそうです。

これを銀行のオペレーターが受けた顧客からの「問い」に対して、オペレーターの出す回答の手助けさせる役割が期待されており、2015年2月にもみずほ銀行では神奈川のコールセンターで部分導入するなど開発が進んでいます。

具体的には、顧客の「問い」に対して上記のしくみで「解」を集め、質問・回答の組み合わせを確信度の高い順に画面に表示させるといった使い方を想定します。
医療の診断への開発も進んでいるようで、今後の展開に様々な分野が期待しています。

◎ 閏秒(うるうびょう)が招く、世界的システムエラーの恐怖

・2015年6月30日は、1日が1秒長い!?

世界の時間を決めている国際機関「IERS」が今年の6月30日に「閏秒」が設けられると発表しました。
閏秒は、地球が1周したら24時間ですよと決められた「世界時間(UT)」と、世界中の原子時計の平均である「国際原子時間(TAI)」のズレを直すことを目的にしています。
閏秒が1972年に導入されてから今回で26回目となりますが、前回の2012年の閏秒が実施された時は世界のコンピュータシステムの其処ここで問題が発生しました。

多くのコンピュータ、ネットワークシステムは国際原子時計と同期しています。そのため、1秒でも増えると同期に齟齬が生じ、主にJavaで構成されているアプリやサービスが誤作動したそうです。

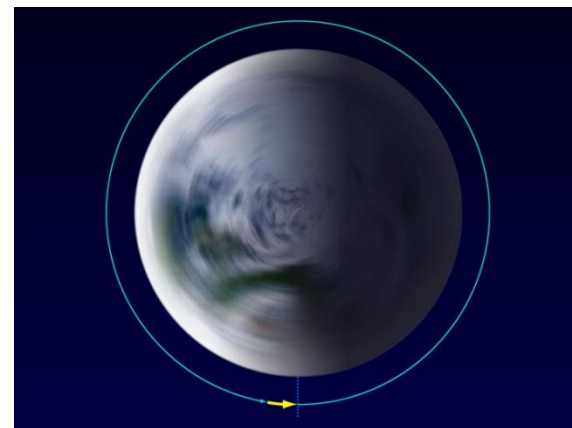
原子時計(atomic clock)

原子や分子のスペクトル線の高精度な周波数標準に基づき正確な時間を刻む時計です。
高精度のものでは3000万年たっても1秒しかズレないそうです。

2012年以前の実施では特に問題は発生していなかったため、多くのエンジニアにとって2012年の閏秒バグはまったくの予想外だったようです。ただし「Google」はその混乱を予想していた対策をたてて2012年の閏秒を乗り切っています。さすがは「Google」ですね。

大規模なバグを警戒しており、世界無線通信会議では閏秒の廃止も検討されているそうなのですが、今回の閏秒には間に合いませんでした。

そう考えると最後の閏秒となるかもしれませんが、のちに「2015年問題はタイヘンだった…」と言われたいことを祈るばかりですね。



閏秒が実施される時は過去からずっと1秒「足される」ことばかりです。これって徐々に地球の回転が遅くなっているということなんですよ。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp